

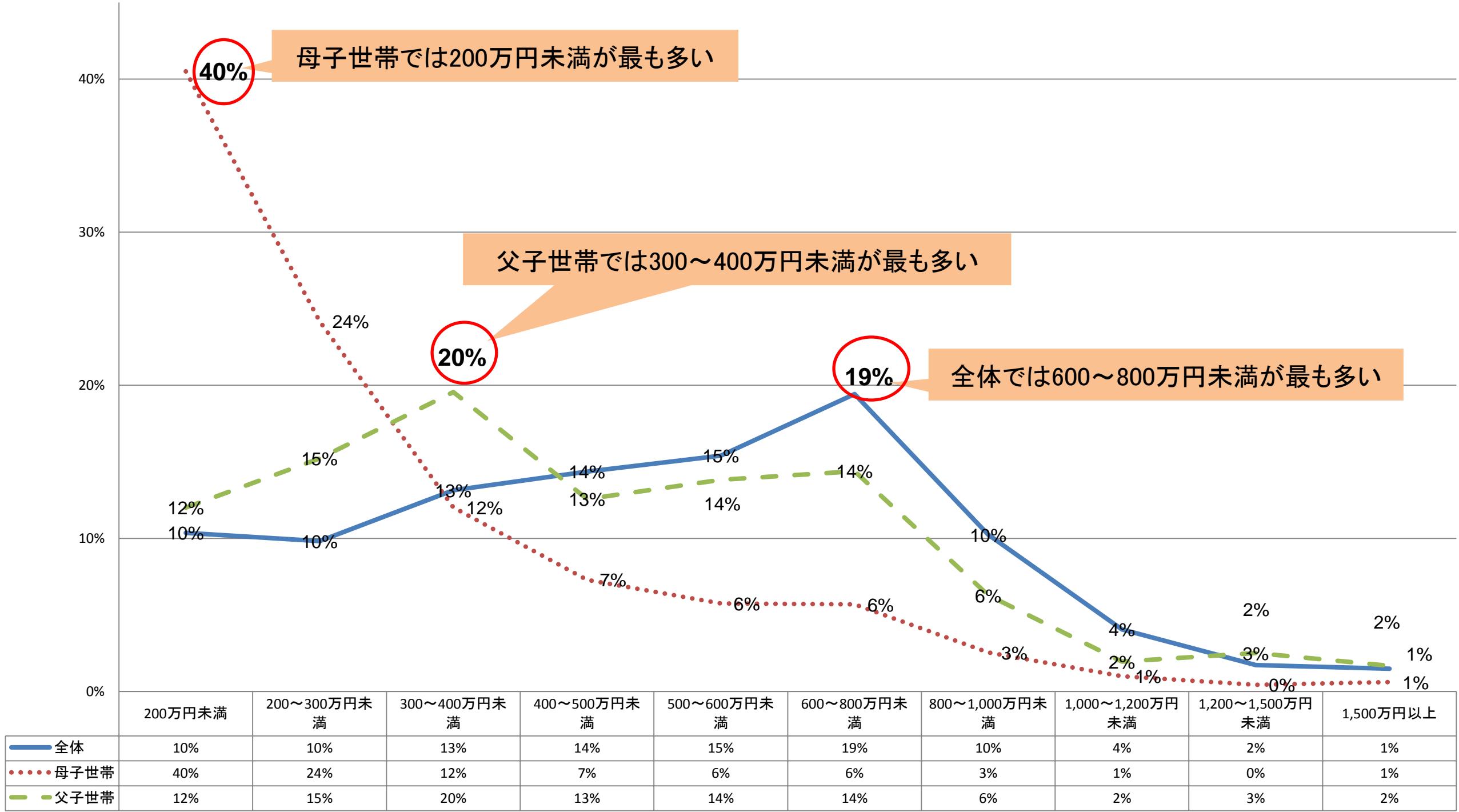
1. 家計・収入・就業に関すること

※本ページは「43市町村」の結果を掲載。「30市町村」の結果との比較はP27を参照

43市町村

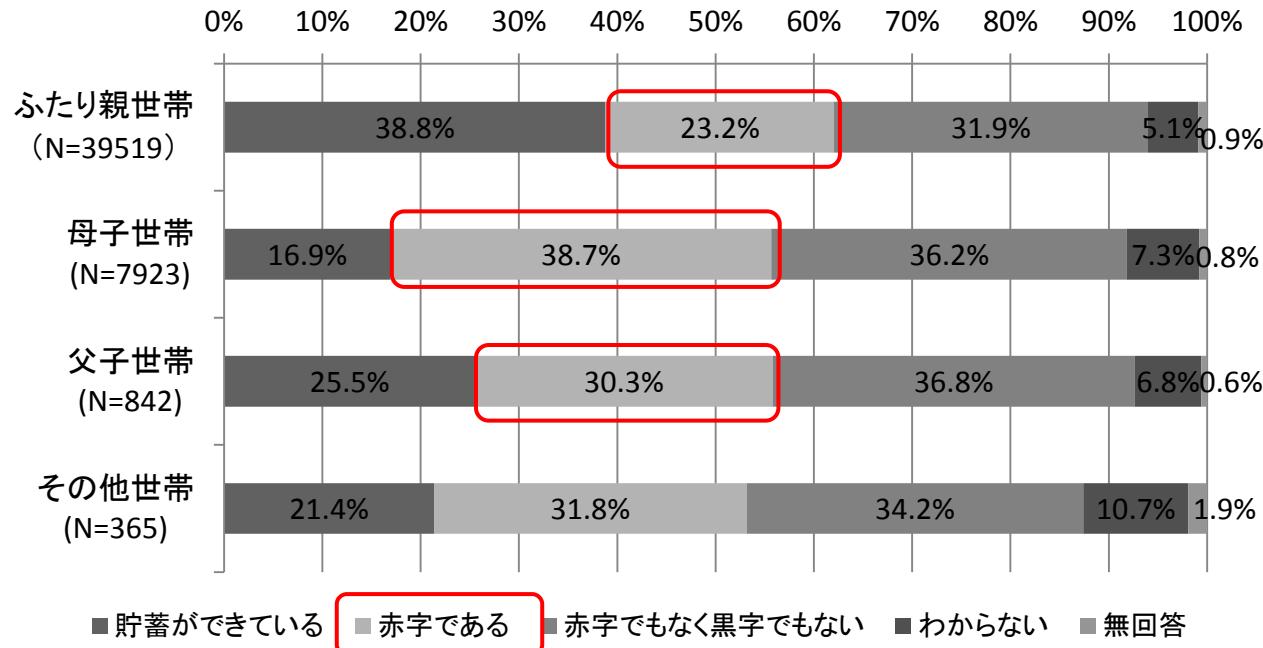
■調査結果から分かったこと

◇ひとり親世帯（母子・父子世帯）の所得状況が厳しい。

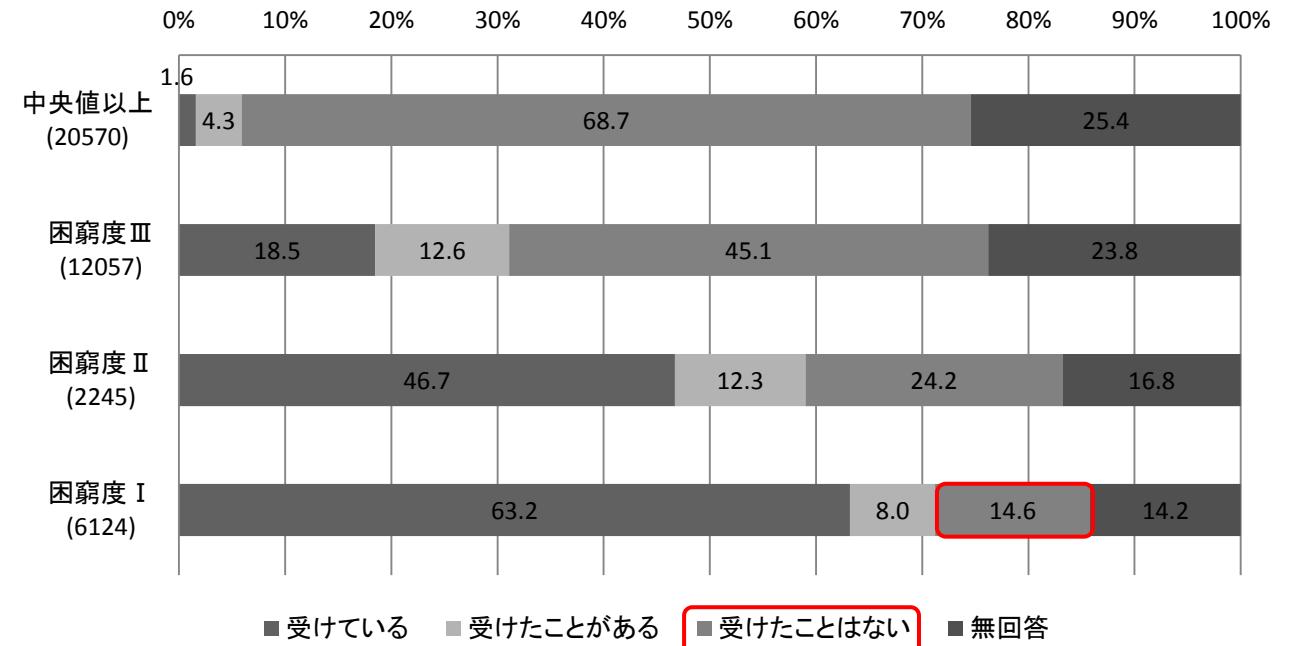


■調査結果から分かったこと

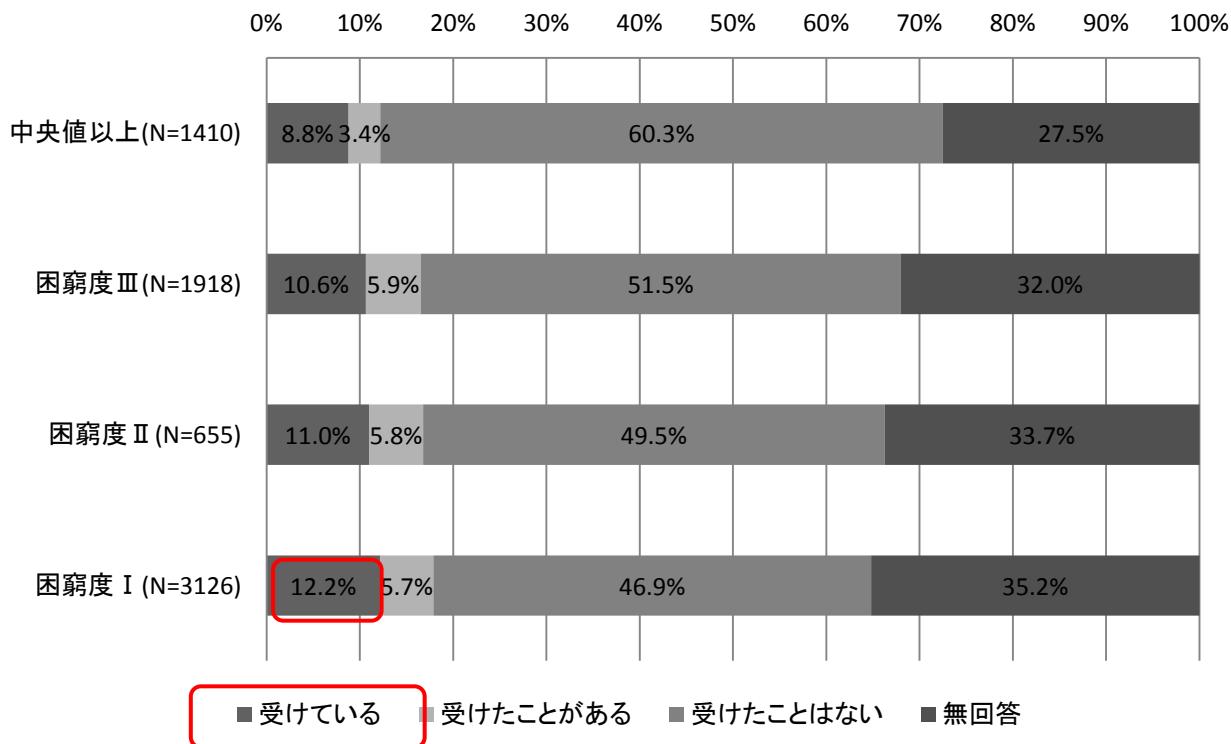
◇ひとり親世帯の概ね3分の1が赤字家計
(ふたり親世帯では約4分の1)



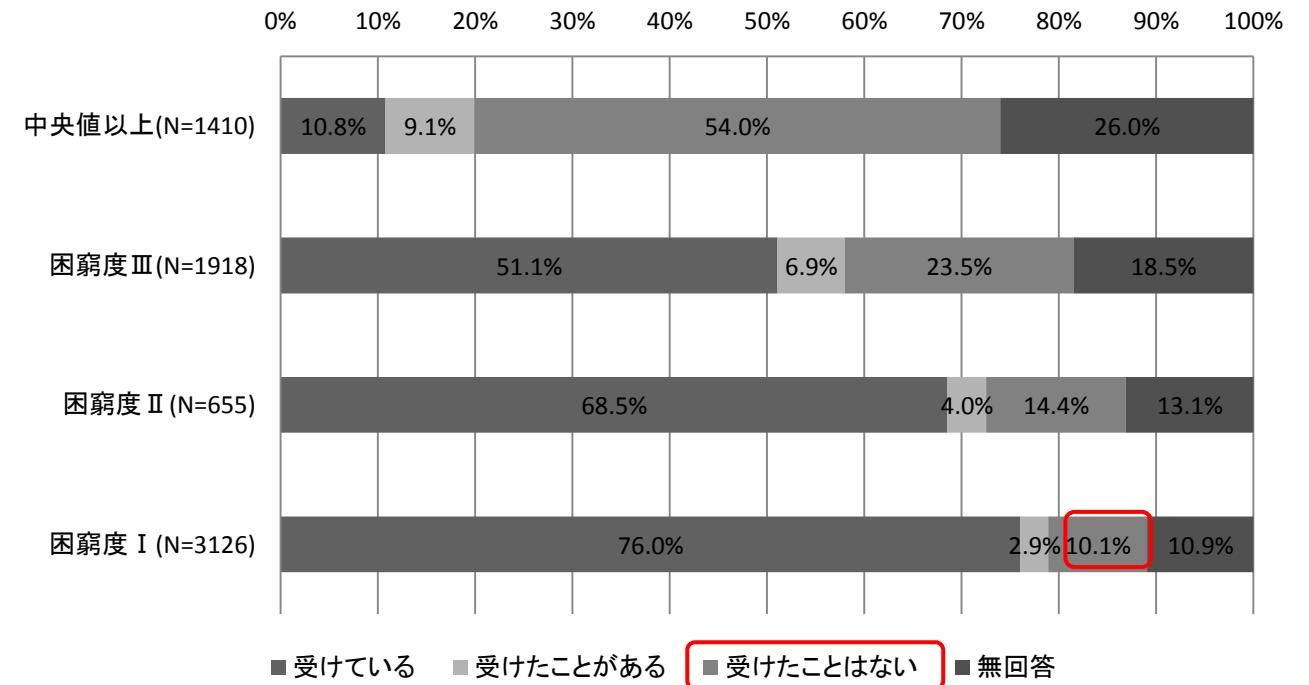
◇困窮度Ⅰの世帯で就学援助を受けたことがない世帯がある。



◇困窮度Ⅰのひとり親世帯で養育費を受けている割合は約1割である。

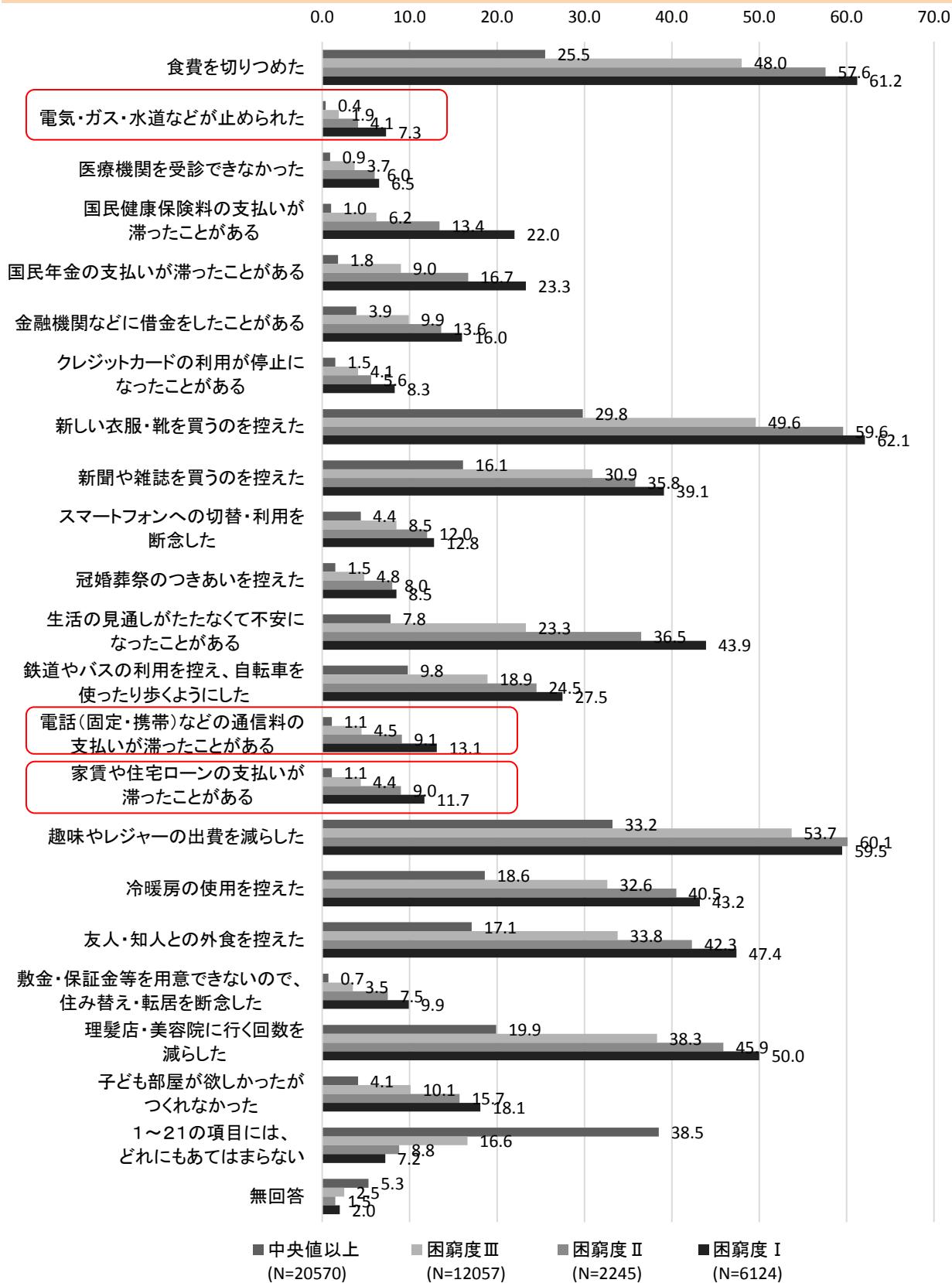


◇困窮度Ⅰのひとり親世帯で児童扶養手当を受けたことがない世帯がある。

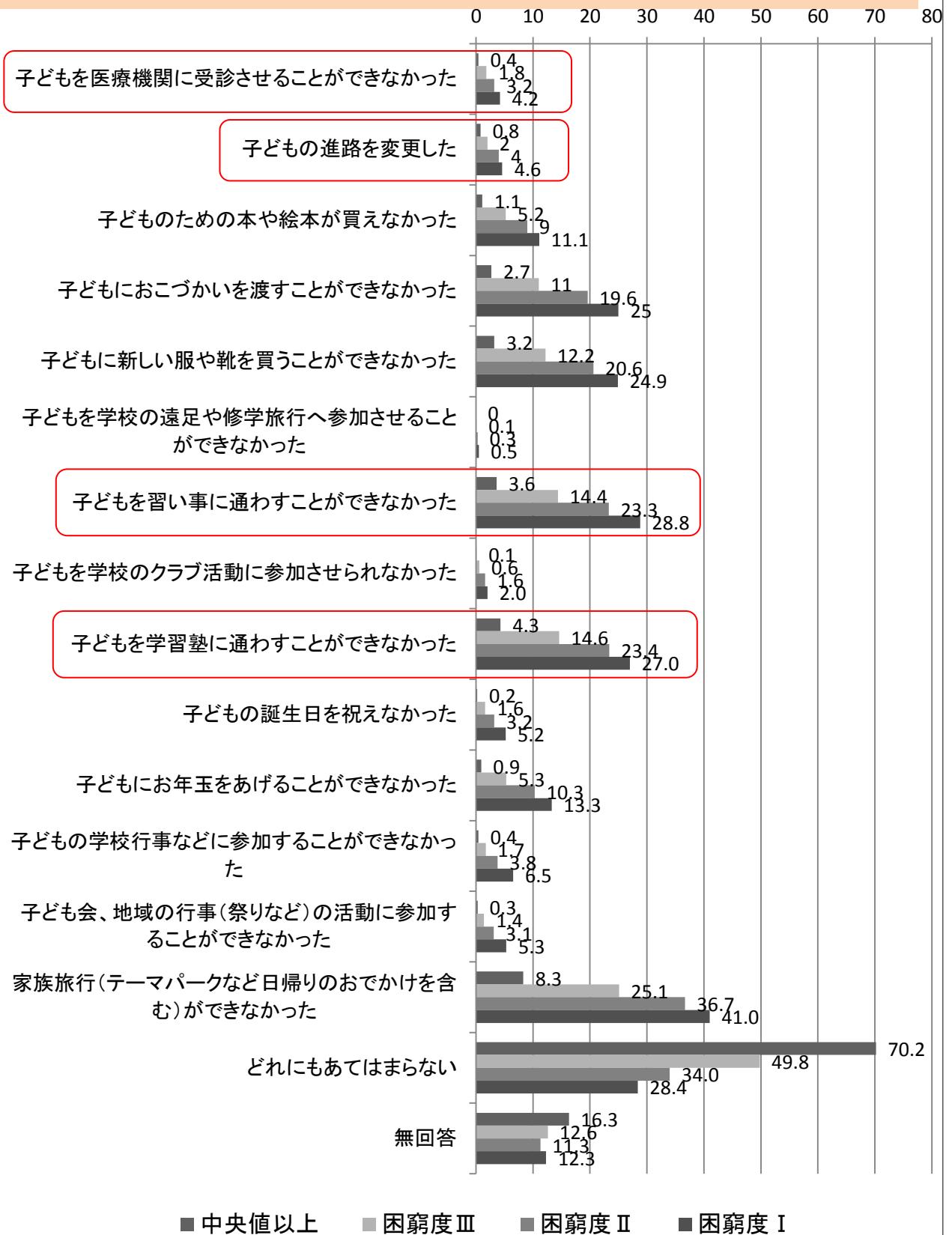


■調査結果から分かったこと

◇困窮世帯ほど、経済的にできなかったことが多い。



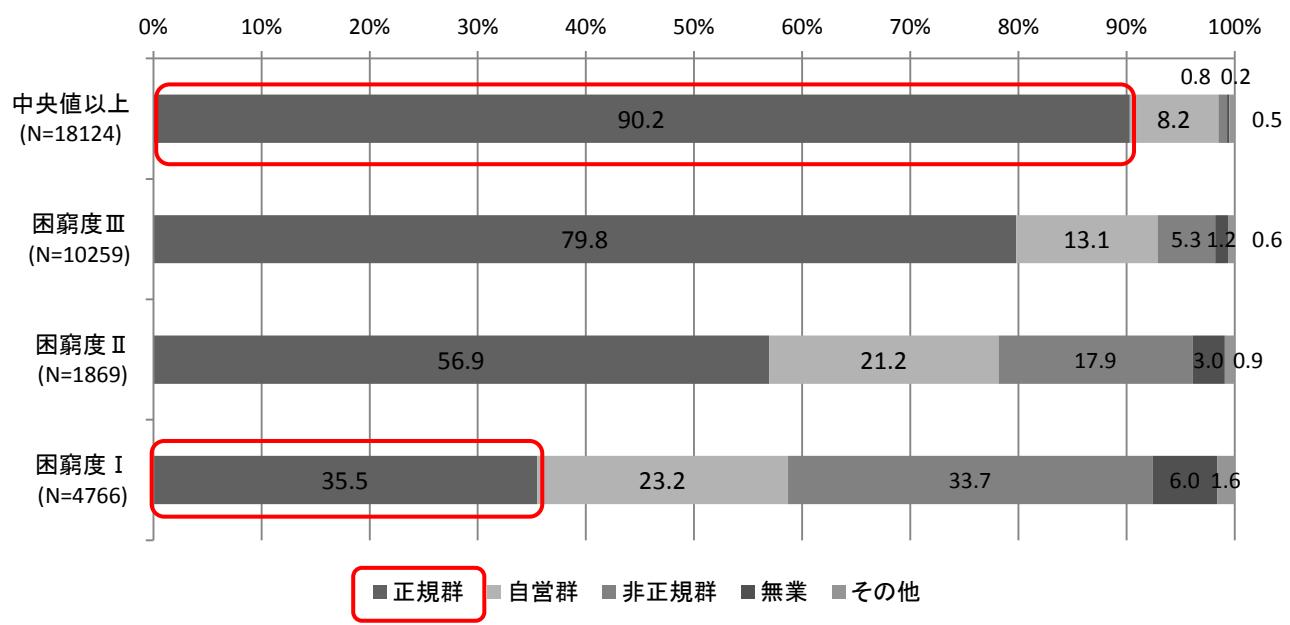
◇困窮世帯ほど、子どもに対して経済的にできなかったことが多い。



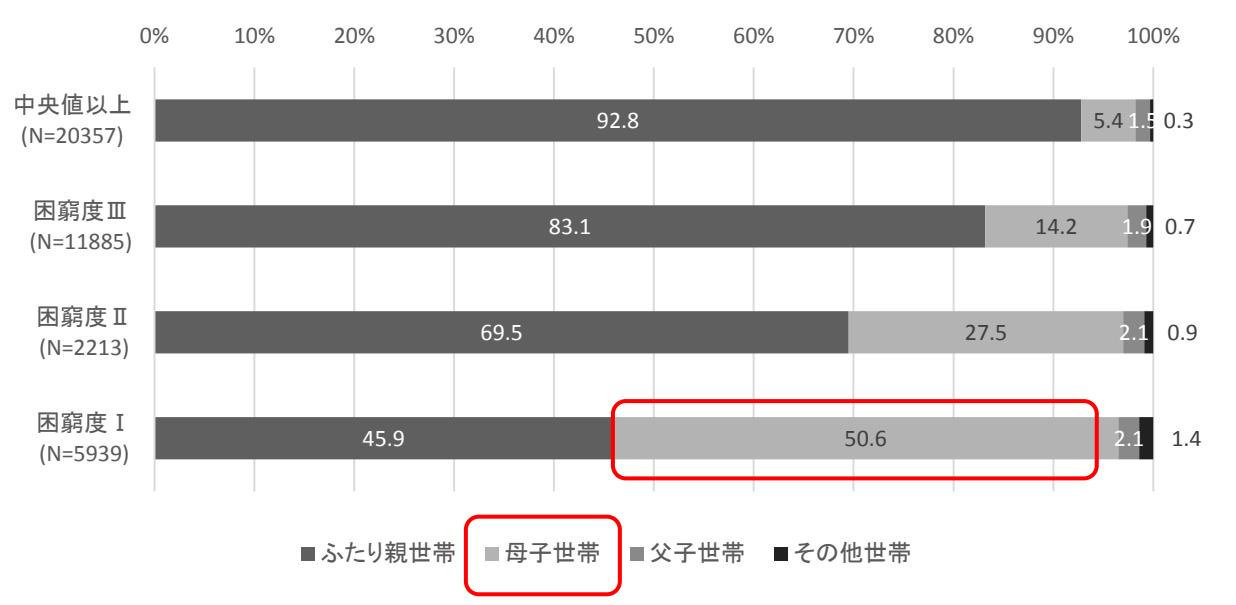
※本ページは「43市町村」の結果を掲載。「30市町村」の結果との比較はP32～33を参照

■調査結果から分かったこと

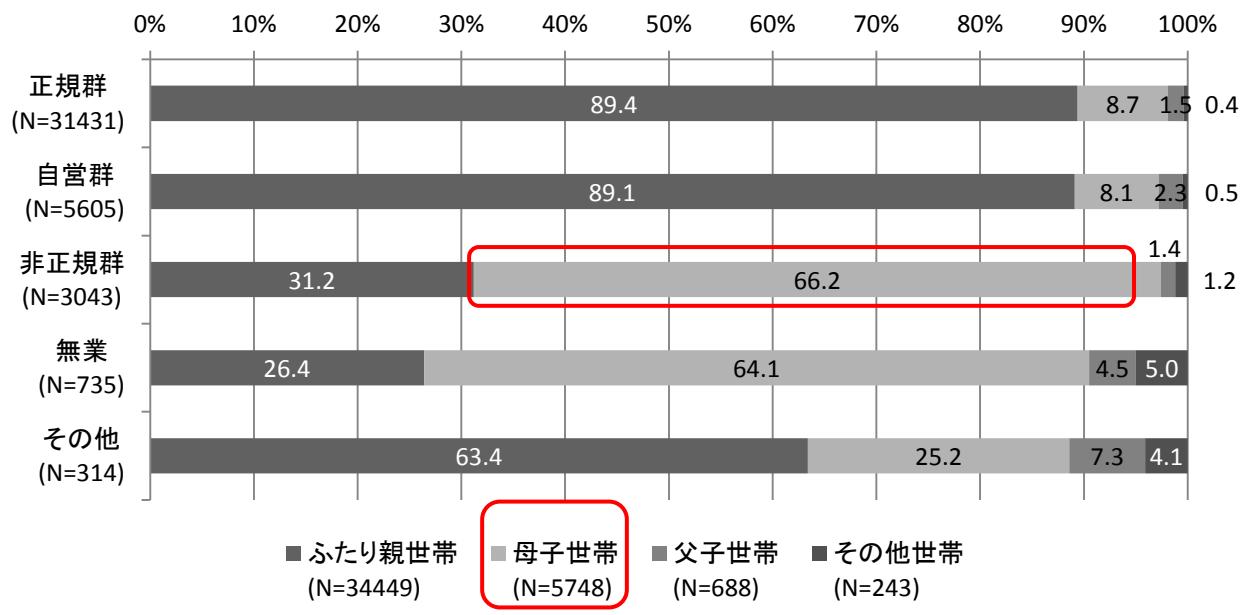
◇困窮度Ⅰの世帯における正規雇用の割合は約4割である。



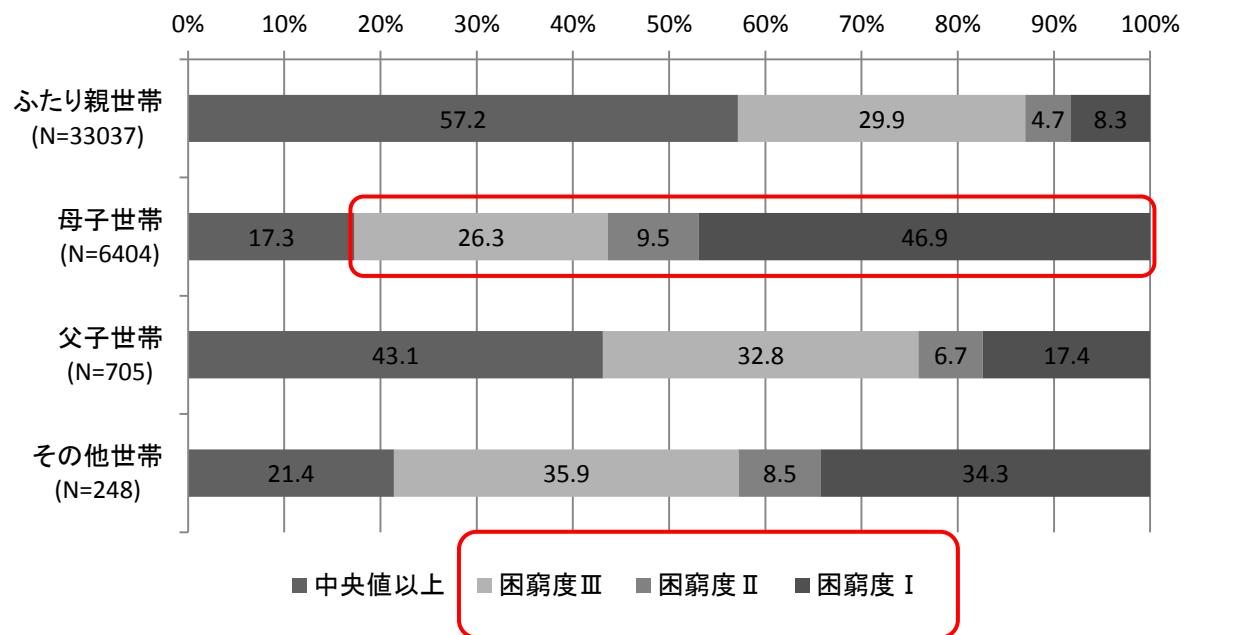
◇困窮度Ⅰの5割が母子世帯である。



◇非正規群に占める母子世帯の割合は約7割である。



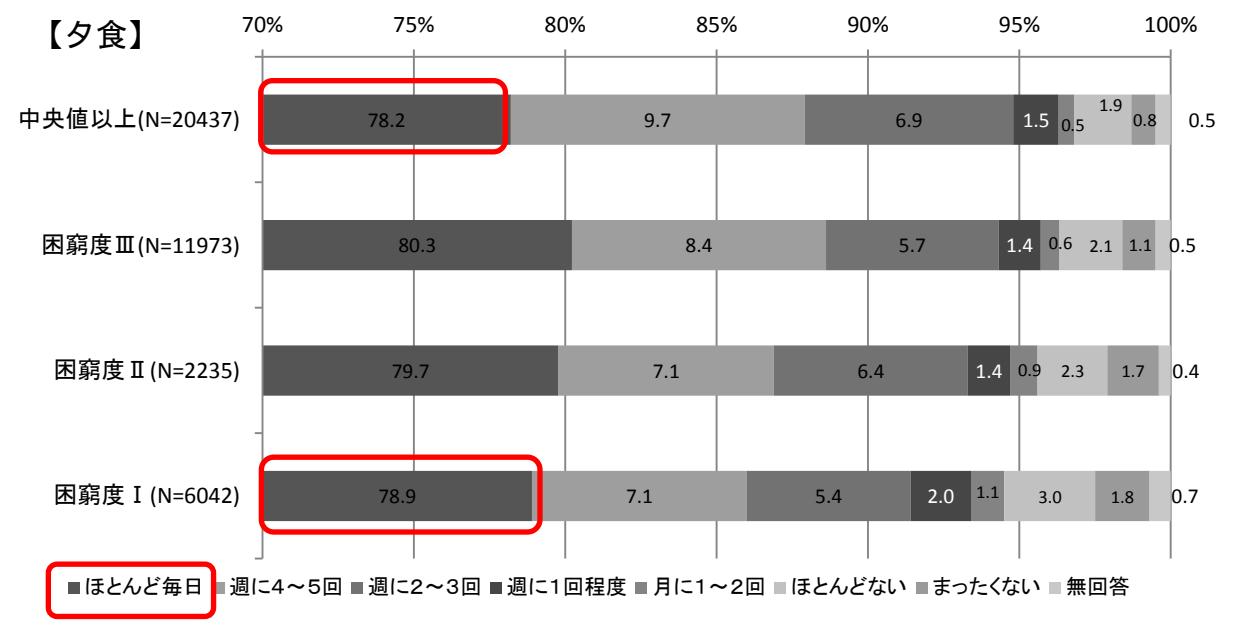
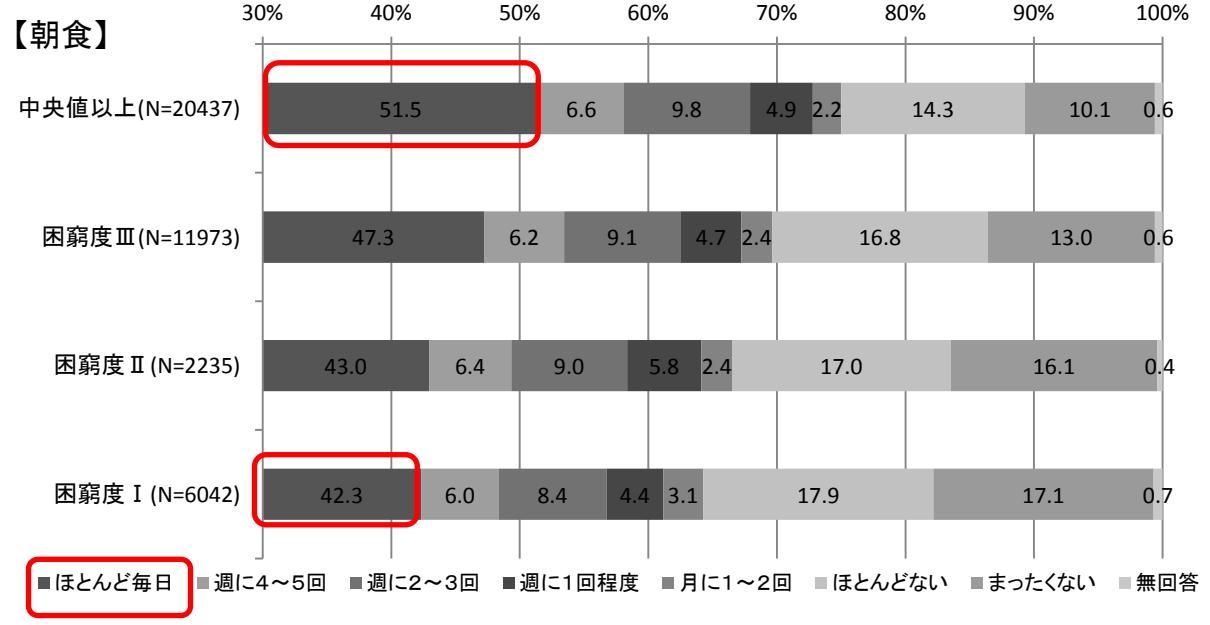
◇母子世帯の約8割が等価可処分所得の中央値に満たない。



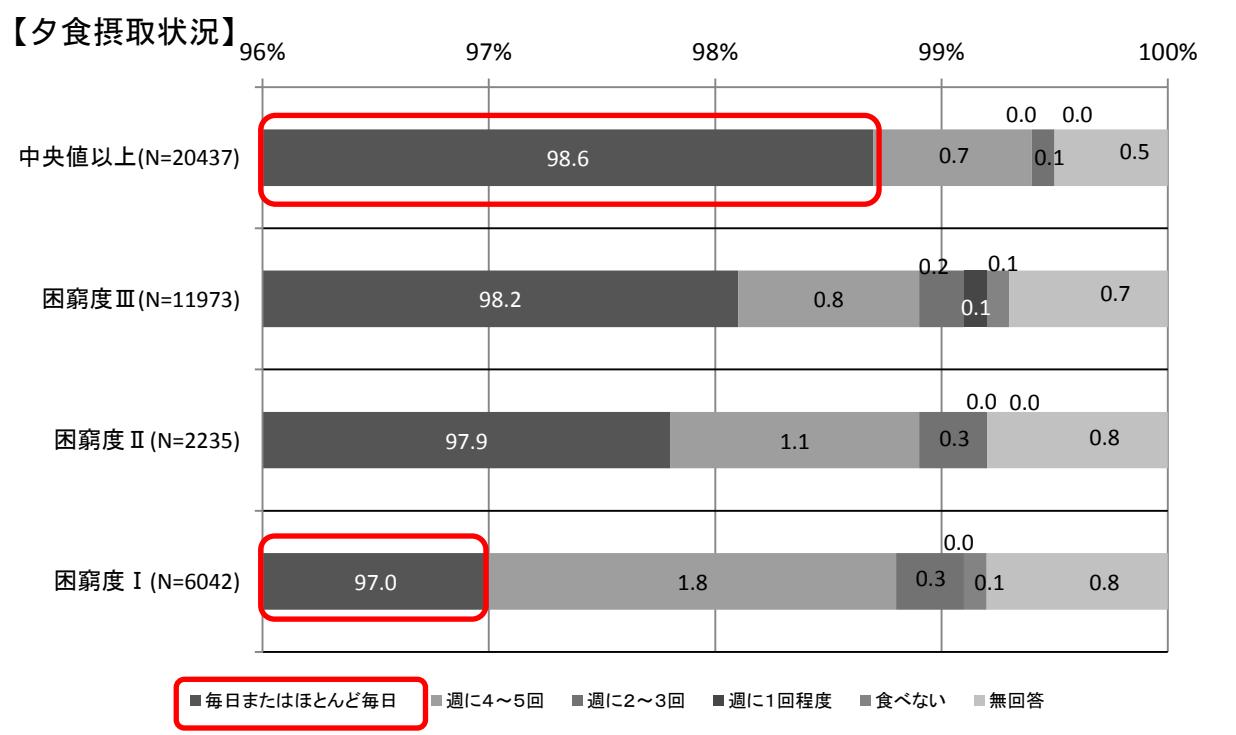
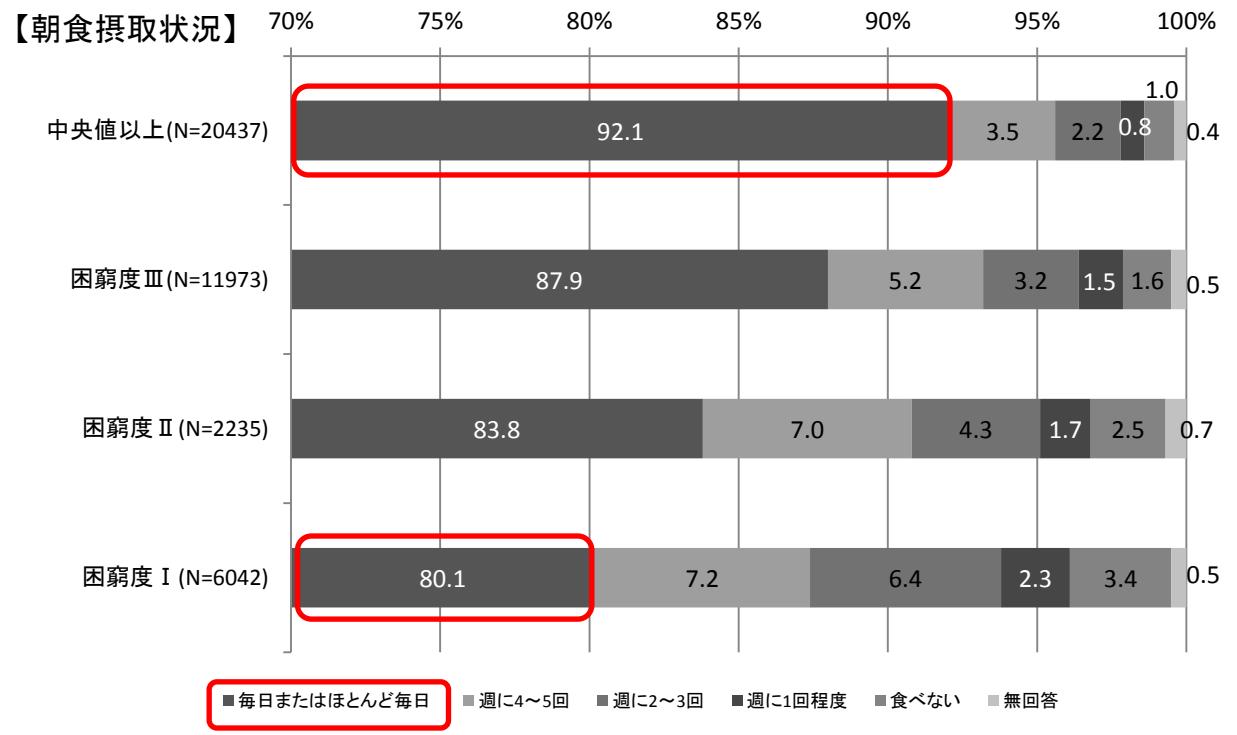
2. 食事に関すること

■調査結果から分かったこと

◇おうちの大人のひとと一緒に朝食をほとんど毎日食べると回答した割合が中央値以上、困窮度Ⅲで約5割、困窮度Ⅰ及び困窮度Ⅱで約4割
 ◇おうちの大人のひとと一緒に夕食をほとんど毎日食べると回答した割合は約8割

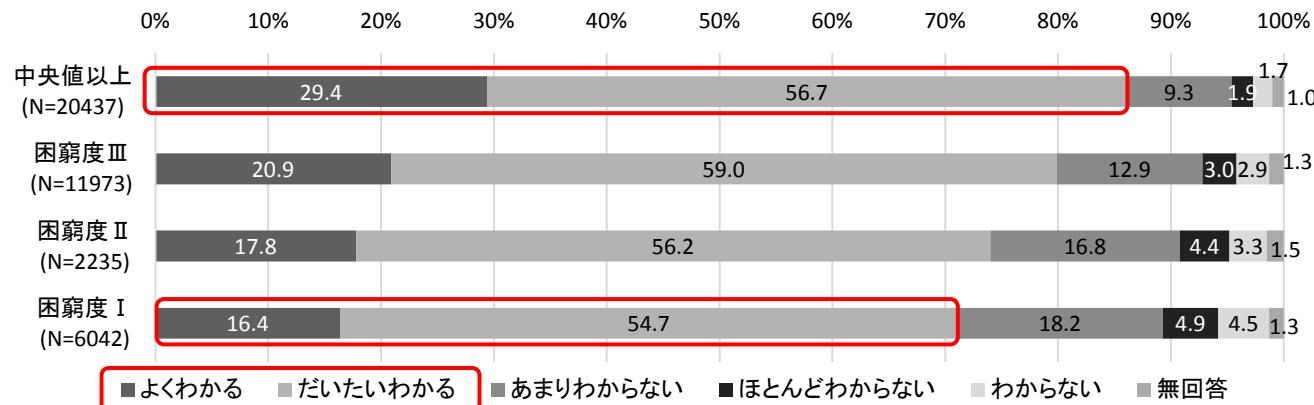


◇「毎日またはほとんど毎日」朝食を食べている割合は中央値以上及び困窮度Ⅲで約9割、困窮度Ⅰ及び困窮度Ⅱで約8割
 ◇「毎日またはほとんど毎日」夕食を食べている割合は約97～99%いる。

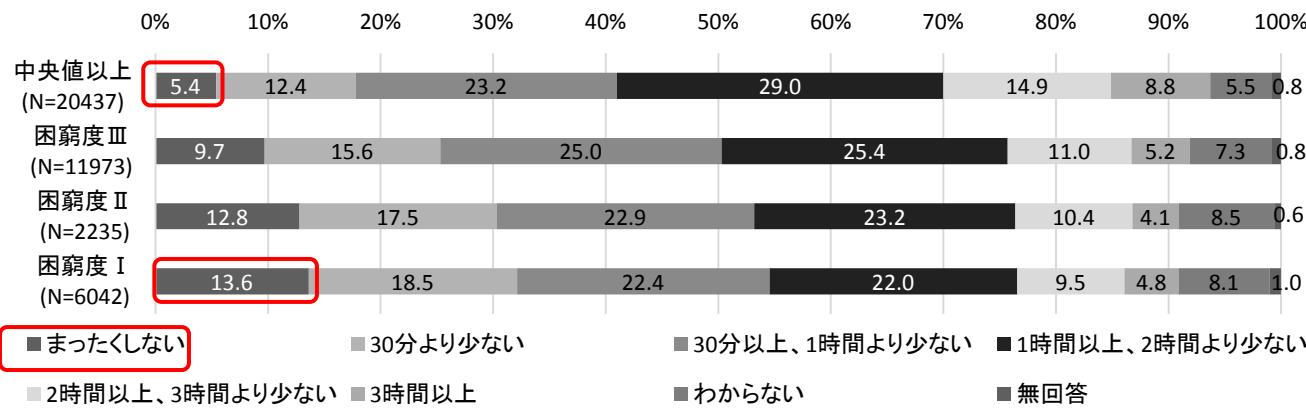


■調査結果から分かったこと

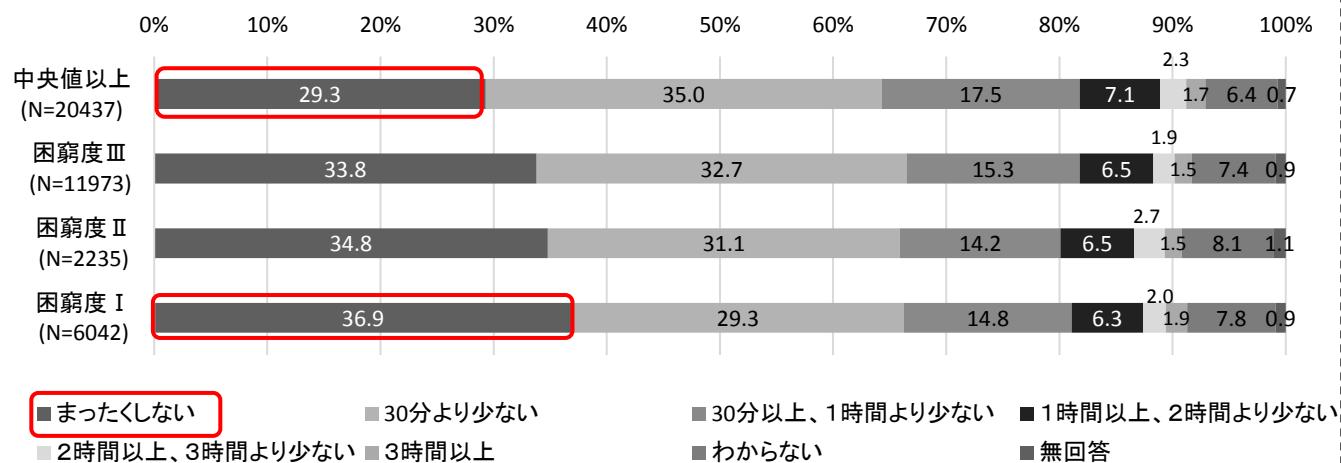
◇困窮世帯ほど学習理解度について「よくわかる」「だいたいわかる」の割合が低い。



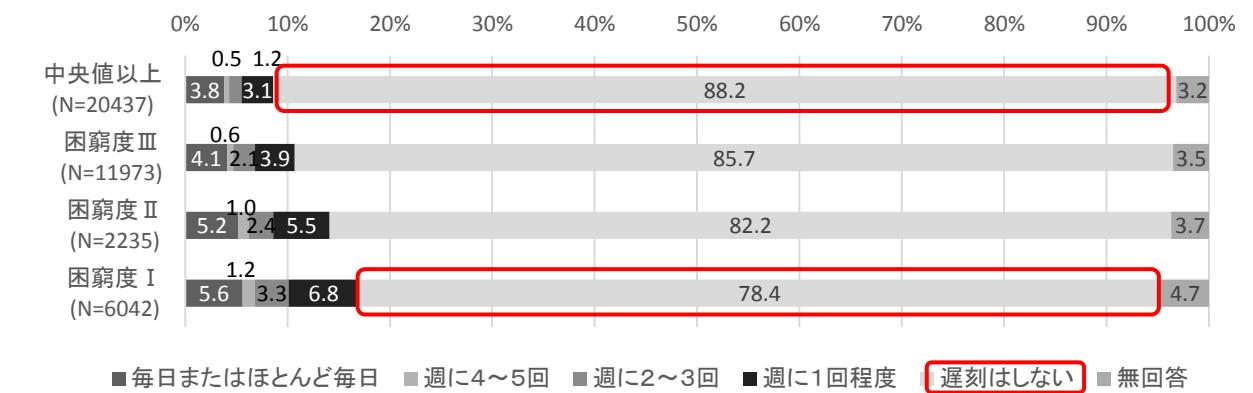
◇困窮世帯ほど授業時間以外の勉強時間について「まったくしない」の割合が高い。



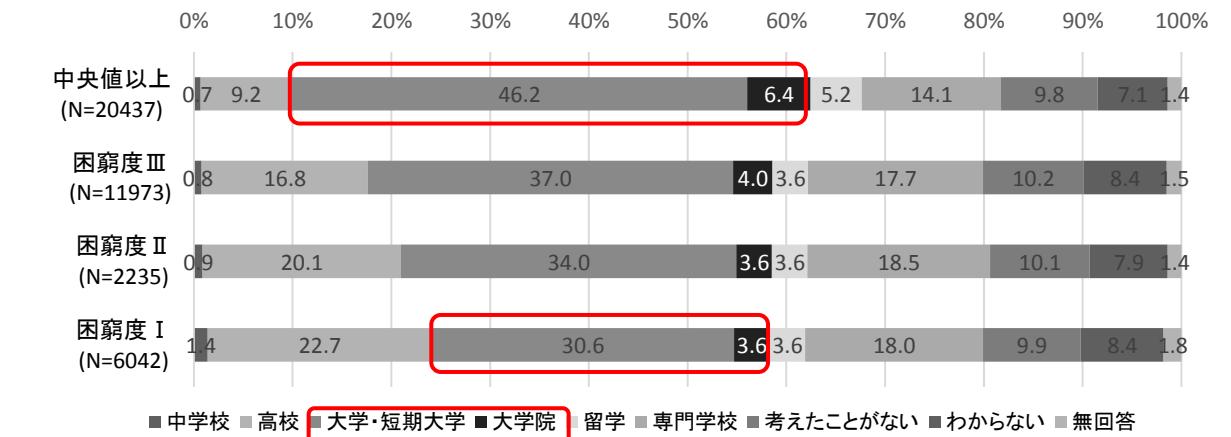
◇授業時間以外の読書について、困窮世帯ほど「まったくしない」の割合が高い。



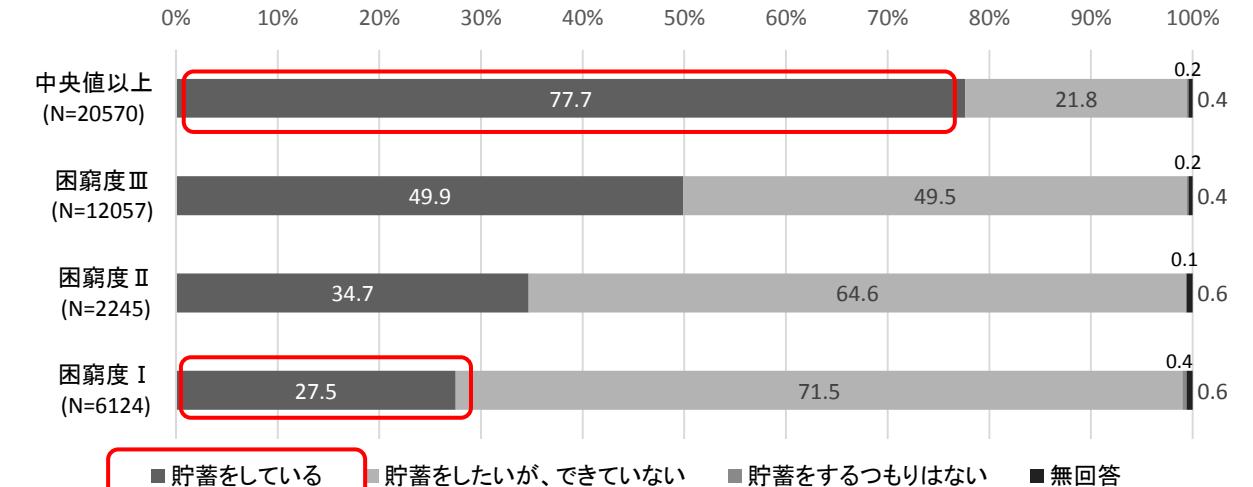
◇困窮世帯ほど遅刻する割合が高い。



◇子ども自身の進学希望について、困窮世帯ほど「大学・短大・大学院」の割合は低い。



◇困窮世帯ほど子どもの将来のための貯蓄ができていない



松井知事・維新の会と森友学園との“黒い関係”

2018/2/14 石川たえ

- 松井知事は、2012年2月26日の「教育再生タウンミーティング」で安倍元首相（当時）と同席。その直後の4月に、森友学園が小学校を設置できるよう私立小学校の認可基準を緩和。
- 松井知事は、2014年4月に、森友学園監事だった故・畠成章元府議と府庁知事室で面会。籠池氏「畠氏には松井知事に働きかけをしてくれたと記憶している」。
- 2011年の知事・大阪市長ダブル選時、籠池氏が橋下・松井氏を応援。畠氏も同行。（フジテレビ「Mr.サンデー」が報道）
- 森友学園へ虚偽の「2億円の寄付」をしたことにされた会社社長「畠さんと松井さんは親しい間柄や」。
- 松井知事は、2017年2月22日、小学校用地にゴミなどが大量に埋まっているという森友側の主張について「森友側はうそをついていないと思いますよ」「近畿財務局の職務怠慢だ」と擁護。（立ちレク）
- 日本維新の会大阪府総支部が、藤原工業（森友小学校施工業者）から献金10万円を受け取る（2013年12月27日）。藤原工業受注の府公共工事は、2002年～2007年2億3千万円→2008年～2014年22億円余りと急増。
- 藤原工業と籠池氏を引き合わせたのは、元維新の会府議の阿部賞久氏。阿部氏の事務所は、かつて藤原工業が本店を置いていた摂津市の「藤原ビル」にある。
- 維新の中川隆弘府議が、府私学審で小学校設置認可が継続審査とされた直後の2014年12月に籠池氏と面会、「認可でてこずっている」「協力して

ほしい」などと要望を受ける。面会后、中川氏は府の担当者や籠池氏側と連絡。

- 維新の横倉廉幸府議は、認可答申時を含め2015年まで府私学審委員を務め続けていた。府議の私学審委員ポストは1名だけ。
- 維新の東徹府議（現参院議員）が、2012年初旬ごろに籠池氏と府庁で面会、私立小学校の認可基準の見直しについて聴取。直後の2012年4月1日に認可基準が緩和された。
- 維新の村上栄二大阪市議（当時）、市位謙太大阪市議が、2012年2月、森友学園塚本幼稚園に隣接する公園内の緑地化に反対し、大阪市に計画を撤回させた。「幼稚園が独占的に球技に使用している」とする地域住民の声があり、緑地化工事を地元で周知したところ、塚本幼稚園から中止の要望があった。市担当者が幼稚園へ説明に出向き籠池氏と面談していたところ、村上氏と市位氏が途中から同席し、計画中止を要求。